

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまSun（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害（知的・情緒など）別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人（保護者など）との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができています。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。
3	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家族通園の方法により、安心した環境の中で活動に参加し、保護者の方は子ども理解や子どもの発達段階にあった関わりを知ることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労している保護者の方や兄弟がいる家庭が利用しやすいような環境を考えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟児や就労している保護者にとっては利用しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと向き合える社会や働きやすい環境を整える社会になって欲しい。
3	施設のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から事業所までの間に、車いす等がスムーズに通過しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がお手伝いしたり、車寄せできるようにしたりし、できる限りの配慮できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	おひさまSun (児童発達支援)
------	------------------

公表日 令和8年 2月 17日

利用児童数 令和7年 9月 30日 (26名)

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25				子ども達の勢いテンションが強いと圧倒します。活動する部屋は広いと思う。少人数なのでスペースは十分に足りていると思います。	部屋の広さは、最低基準以上の広さを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		1	配置基準等あると思います。4～5月の時はより安心な気持ちがありました。丁度良い人数だと思う。いつも子どもの人数に対して満足のいく配置数だと思います。	配置基準は子ども4名の対して大人1名となっていますが、必要に応じて最低基準以上の職員配置ができるようにしています。子ども達の発達に気づき、個別対応に努めたり職員の立ち位置にも配慮したりしていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2			子どもにも分かりやすい空間になっていると思う。	子どもの状態に合わせて活動内容や環境設定を工夫していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25				洗面所のマットが必要なか不明です。掃除が行き届いていて安全です。	以前洗面所の前がよく濡れているというご意見を頂いた為、マットを使用しております。状況に応じて使用していきたいと思っています。また、お気付きの点等ありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2			とてもありがたい支援です。大体対応されていると思います。1人1人の個性に応じて対応してくださり、ありがとうございます。	活動前の打ち合わせや活動後の振り返り等で子どもの状態を共有して支援を考えたり、毎月のケースカンファレンスで支援の共有や専門療法士にも意見を聞きながらより良い支援をチームで考えています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1	母子連帯等私たちに合っています。詳細を覚えていません。	契約時や新年度の際に支援プログラムをお渡しし、説明させていただいています。分室や更衣室にも掲示している為、ご不明な点等ありましたら、お知らせください。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				子どもを思ってください。様々なニーズに対応した計画書です。親の意見が取り入れられていると思います。	日々の保護者とのお話の中からニーズや課題を聞いた上で計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25				大体そう思います。	個別支援計画書は、児童発達支援ガイドラインに沿って作成しています。ガイドラインは、分室や更衣室にも置いてありますので、いつでもご回覧ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				大体そう思います。	ご不明な点がありましたら、お知らせください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1			毎回活動を楽しみにしている子どもで、毎月色々な活動を計画してもらっており、楽しく通っている。毎回違う活動になるように工夫されている。	月の活動計画（おたより）の中で、感覚遊び、運動遊び、製作遊び、お散歩等感覚統合を主に取り入れ、内容が固定化されないようにしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1	2	5	田植えでは他の子たちと交流できました。	事業所として交流の機会は設けていませんが、登録の9割以上のお子さんが幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園している為、幼保連絡会では子どもの情報共有はもちろんのこと、おひさまSunの施設案内や事業所の紹介等も行い併行通園先の先生方にも知って頂けるようにしています。今年度は保育園と焼き芋会を開催しました。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					契約時に説明がありました。	負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。また、ご不明な点がありましたらお知らせください。
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					きちんとされていた。	保護者の方と一緒に子ども達の成長に合わせた支援ができるよう心掛けていきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24		1	イベント行事助かります。外部の講師や先生方によるお話し(例:就学相談までの流れ等を説明してくれるもの)がもう少し増えても良いように思います。1年で数回勉強会があります。	懇談会や療育相談の実施、子どもに合わせながら保護者と一緒に活動するグループ等も設定している為、一緒に考え、実践できるようにしていることが当事業所のペアレントトレーニングと考えています。ご意見ありがとうございます。来年度の計画の参考にさせて頂ければと思います。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	24	1		報告連絡し、些細なことから相談して共通理解あると思っています。大体そう思います。	相談等いつでも話ができるように心掛けています。相談を持ち帰らせていただいた後もお返しできるようにしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				報告連絡し、些細なことから相談して共通理解あると思っています。大体そう思います。	複数の職員が入ることで一人ひとりと話ができるように心掛けています。いつでもお気軽にお話しいただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				相談後の様子など配慮してくださり安心感があります。大体そう思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	18	3	4	保護者同士の交流があり、日々の迷い悩みも話せる場があります。母親同士の横の繋がりがある人となりで差があるように思います。交流の場を設けられると嬉しいです。親子遠足等定期的に交流する機会が設けられていると思います。良いと思います。入ったばかりで詳細はまだわかりません。	保護者分離の時間や懇談会や行事を通して家族同士でコミュニケーションが図ることができるように心掛けています。懇談会の内容等も吟味し、保護者の交流の場になるように努めていきたいと思っています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			2	報告連絡し、些細なことから相談して共通理解あると思っています。相談後の様子など配慮してくださり安心感があります。保護者同士の交流があり、日々の迷い悩みも話せる場があります。相談したことはすぐ対応してもらっている。	相談に迅速かつ丁寧に対応できるようにしていきたいと思っています。必要に応じて、専門療法士とも個別にお話することもできる為、声を掛けていただければと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1			すごく思います。そう思います。	振り返り等を通して、情報共有させてもらっています。また、子ども達にも分かりやすいよう、必要に応じて視覚提示の工夫を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	1		ホームページだけでなく、メールやLINE等で都度発信されることがたいです。ホームページで情報発信されています。	ホームページにおたより等を月に1回更新しています。保護者の方に分かりやすく掲示できるように検討していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				そう思います。	契約時に説明させていただいています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3	大体そう思います。	防犯訓練の実施も検討していきます。更衣室や分館室に消防計画細則を掲示しています。お目を進めて頂ければと思います。緊急時、防犯に関してもマニュアル等策定しております。掲示物を確認いただければと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			3	避難訓練が毎月行われている。	月に1回避難訓練を実施しています。火事・地震・風水害等様々な災害を想定して計画するようにしています。また、くすの子保育園と合同の総合避難訓練を年1回行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			2	大体そう思います。	緊急時マニュアル等作成しています。子ども達が安全に活動できるように毎月安全チェックリストで確認しております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			1	事故等あった時、事後の様子など再度確認や説明があります。そう思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				大好きで楽しみに通所しています。安心して通所している。	ご意見ありがとうございます。今後子ども達が安心して通所できるようにしていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				大好きで楽しみに通所しています。通所を楽しみにしている。	ご意見ありがとうございます。子どもたちが楽しみにして来所できるように活動を計画していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				とても満足しております。親身に対応してもらえて満足している。	ご意見ありがとうございます。今後もより保護者と子ども達にとって安心できる場所であるように努力してまいります。何かありましたらお知らせください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
おひさまSun (児童発達支援)		令和8年 2月 17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数が多い行事等の際は、活動内容を考えながら安全に過ごせるように設定しています。また、利用人数、子どもの状況に合わせたグループ編成を行うようにしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		4:1の配置基準の中、子どもに合わせて1~2名追加で配置するようにしています。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		発達段階や障害の特性に応じて、改善する機会を設けています。余計な刺激を無くし、視覚的に分かりやすい環境を設定しています。また、心のバリアフリーも大切にしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動毎に掃除を行い、活動が始まるまでに環境設定をしています。定期的に玩具の消毒や掃除、草刈り、夏と冬に(年2回)大掃除を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン等の際に必要に応じて分離室や相談室等個別の部屋を使用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせや振り返りを行い、月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼の時間で意見の把握や行事や活動後の振り返りの時間を設けています。また、自分の思いだけでなく、相手の思いを知ることで業務の改善につなげる努力をしています。研修報告を職員で閲覧し、学んだことや考えたことを把握して意見交換ができるようにしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部に評価はお願いしていませんが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に外部や内部の研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの助言も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページの掲載や懇談会で保護者へ説明しています。また、分離室と更衣室に掲示をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っており、外部で行われたアセスメントツール等の結果も情報共有して支援の参考にしています。また、必要に応じて感覚プロファイル等を実施して評価しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い、活動の中での子どもの様子を共有することで、共通理解のもと作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察について日々の振り返りでスタッフと共有することや、前回の行動観察についてアセスメントしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討し、作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		案を元に参加スタッフ全員で行っていません。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月の計画で季節の行事等も取り入れながら、かつ同内容が固定化しないようにしています。また、公開療育に参加し他事業所の活動も参考にしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動計画の中で個別対応をしたり個別の配慮を取り入れた計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動前に打ち合わせを行い、共通理解の元、対応できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後に保護者と振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録、全体記録を取り、次に繋げられるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の話や連絡会等の内容等も記載し、反映しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心にグループ担当も参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との会議や定期的な情報交換を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼保連絡会、幼保小連絡会を行い、連携を図っています。必要に応じて電話等でも連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学先が決定した後、移行支援シートを用いて連絡会を行い、連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		外部研修や公開療育等を通して連携を図り、他事業所との勉強会を年2回行っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修や公開療育等に参加しています。また、定期的に専門療法士も活動に参加して頂いている為、助言をいただいています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。今年度は保育園と焼き芋会を行いました。また、登録児の9割近くが幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族通園を通して、年3回の懇談会、振り返りや随時相談、保護者と一緒に活動をする機会を設け、話をしていくことが当事業所のペアレント・トレーニングと考えています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書類に基づいて説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画の面談を通して話をする機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者と話をしながら反映し、同意を得ています。また、ニーズが変更する場合は記録に残し、話ができるように心掛けています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。また、きょうだい同士の交流は行事等を通して交流ができるようにしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談等、対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等でお知らせしています。毎月25日にはアップできるように心掛けています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約の際に説明し、確認をしています。また、ホームページに写真をアップする際は随時確認をするようにしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		家族通園の為、保護者と一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら意思の疎通や情報伝達をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事の際等に、卒所児やその家族に声掛けしお誘いしています。	感染症流行後、地域との関わりも薄くなってしまった為、今後地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		掲示等を通して周知しています。年に1回総合避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、職員間で周知をしています。また、毎月避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。また、必要に応じて生活管理表を医師より記載してもらい提出してもらっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		給食室と確認しながら、医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を元に火災や地震を想定した訓練を各グループで行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示を行っています。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修会への参加等、必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時、身体拘束についての同意説明を行っています。また、個別支援計画に記載していますが、基本、身体拘束は行っていません。	